

科目名	保健体育	英語科目名	Physical Education
開講年度・学期	平成 28 年度・後期	対象学科・専攻・学年	1 年 全学科
授業形態	実技	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	三原 大介	居室 (もしくは所属)	講義棟 2 階研究室
電話	0285-20-2184	E-mail	mihara@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 陸上競技の「走」「跳」「投」の基本技術を理解し、記録を伸ばすことができる。	⑥	B, E	d-4, f, g, i
2. ルール、審判法を理解し、記録を伸ばすことができる。	⑥	B, E○	d-4, f, g, i
3. バスケットボールのドリブル、パス、シュートができる。	⑥	B, E	d-4, f, g, i
4. ルール・審判法を理解し、ゲームができる。	⑥	B, E	d-4, f, g, i
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1～2 について、記録会 (50m・男子 1500m・女子 1000m・走幅跳・走高跳・棒高跳・ターボジャブ・女子用円盤・砲丸投げの中より 3 種目選択) を実施して 5 段階評価する。3～4 について、ドリブル・パス・シュートの試験を行い 5 段階評価する。			
評価方法			
各種目の実技テストを行い、記録、チーム成績を勘案し 5 段階評価する。 *授業態度、基本的技術、チーム成績を総合的に勘案し、A、B、C、D、E の 5 段階で評価する。 *欠課数が 1/3 を超える者は評価の対象にしない。			
授業内容			
陸上競技			
1. 準備体操、用具、服装、授業内容、評価等についての説明、歩き方、腕ふり、走の基本、整備体操			
2. 準備体操、「走」の基本技術、50m・男子 1500m・女子 1000m 練習、整備体操			
3. 準備体操、「跳」の基本技術、走幅跳・走高跳・棒高跳練習、整備体操			
4. 準備体操、「投」の基本技術、ターボジャブ・女子用円盤・砲丸投練習、整備体操			
5. 準備体操、ルール、審判の仕方の説明、3 種競技会、整備体操			
6. 準備体操、ルールの確認、第 1 回記録会、整備体操			
7. 準備体操、ルールの確認、第 2 回記録会、整備体操			
8. 体カテスト			
バスケットボール			
9. 準備体操、ドリブル、パス、シュートの基本、整備体操			
10. 準備体操、8 つの班のチーム分け、守備の基本、ドリブル、シュート練習、整備体操			
11. 準備体操、シュート練習、フリースロー練習、簡易ゲーム、整備体操			
12. 準備体操、シュート練習、ルール、審判法の仕方、簡易ゲーム、整備体操			
13. 準備体操、シュート練習、簡易ゲーム、整備体操			
14. 準備体操、ルールの確認、トーナメントゲーム、整備体操			
15. 準備体操、基本技術練習、ゲーム、整備体操			
*雨天など天候不順の場合は、室内競技または体育講義を実施する。			
キーワード	陸上競技、バスケットボール、コミュニケーション		
教科書	特になし		
参考書	特になし		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	保健, 体育		
現学年の関連科目	保健体育		
次年度以降の関連科目	保健体育		
連絡事項			
学校指定の体操着、体育館シューズを着用すること。それ以外は認めない。用具は学校で用意する。 体育着忘れは減点かつ実技参加は認めない。遅刻は減点、遅刻 3 回は、授業 1 回の欠席にする。 各クラスの週番は、必ず授業前の用具の準備、連絡事項の伝達を行うこと。			
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 21 日		